

成果に連動した魅力ある 介護予防の取組

「しずおか ちゃちゃちゃ」

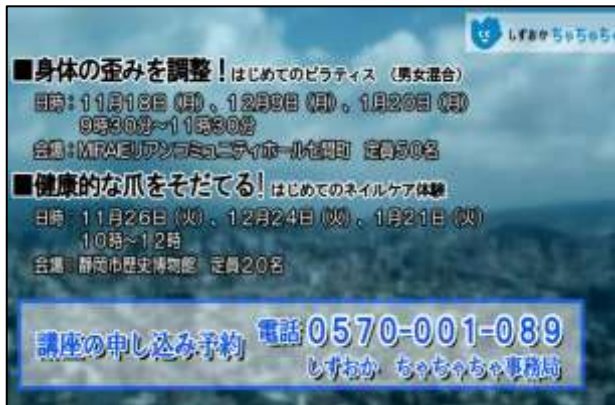
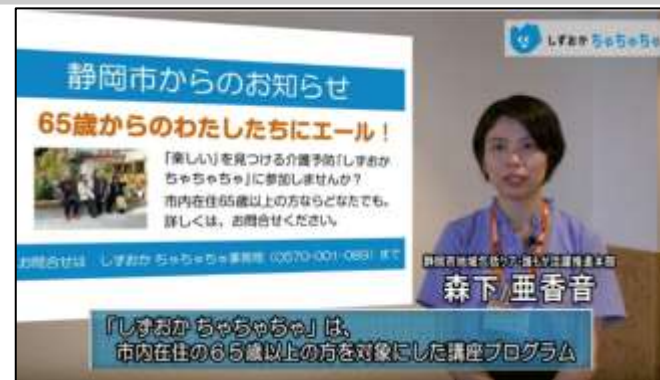
(PFS実務者セミナー資料)

2025年2月25日

静岡市



静岡市の新しい介護予防の取組「しずおか ちゃちゃちゃ」



PFS導入の意義①:静岡市の介護予防の主な取組

S型デイサービス(市が事業者へ委託)

住民の支え合いによるレクリエーションやゲームを取り入れた簡単な体操、会食などを通じた、**高齢者同士の交流の場**



しぞ〜かでん伝体操(市が主体となり直営)

米国国立保健研究所・老化医学研究所の【50歳からの健康エクササイズ 体操・運動・安全・栄養】を参考に制作したもので、おもりに手足に付けて行う、**体操**



PFS導入の意義②:成果に連動した魅力ある介護予防のきっかけ・考え方

- 介護サービスの需要と経費が増加。

要支援・要介護認定者数が増加傾向。

要支援・要介護認定者数(静岡市)

2021年度	2022年度	2023年度
40,907人	41,796人	42,407人

介護サービス(介護保険の対象となるサービス)に要する経費が増加傾向。

介護サービスに要する経費(静岡市)

2021年度	2022年度	2023年度
685億円	691億円	711億円

- 介護サービスを提供する人材が不足。

現時点でもすでに介護職員の有効求人倍率が4倍を超えている。(静岡市、2023年)

介護人材の需要と供給のギャップが2025年に、1,200人まで広がる見込み。

需要に対し10%不足。(需要:約13,500人 供給:約12,300人)

- 増加する介護サービス需要そのものの抑制が必要。

何とかして、介護予防効果を高めたい。

PFS導入の意義③:行政の仕事の進め方

仕様発注

行政が設計し、事業者が「設計どおりの成果」を出すことを期待。

≪ **仕様発注**: 実施するサービス内容を細やかに規定し、規定どおりのサービス実施を求める。≫

行政: 計算した成果を計算どおり得られるので安心。

事業者: ・ 仕様どおり実施すれば、
収入は得られるので安心して参入。
・ 創意工夫しても支払われる額は同じ。

成果発注

行政がめざす成果の姿を示し、社会や事業者が創意工夫により、「より高い水準の成果」を出すことを期待。
(社会の大きな力と知がつながることを行政が下支え。)

≪ **成果発注**: 達成すべき成果の目標値を設定し、
サービスの実施方法を事業者任せ、
より高い成果を求める。≫

行政: ・ 計算内 + 計算外の成果を期待。
・ でもこれまで導入したことがないから不安。

事業者: ・ 過去の受注経験がないので参入に不安。
・ 創意工夫すれば、
より良いサービス(成果)が生まれ、
社会のウェルビーイングに貢献。
・ それが正当に評価されて、収入も増える。
⇒ やりがい・意欲が大幅に向上。

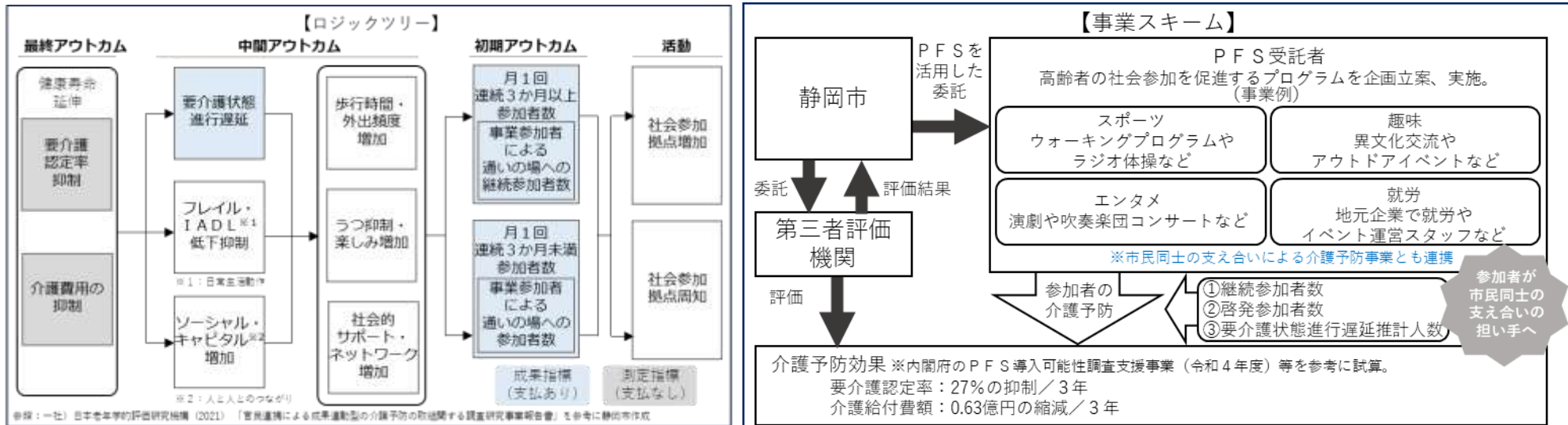
実務的な課題とその対策①

(実務的な主な課題)

当初は、「成果に連動して支払が増える」ということが「前例がない」ので、市役所内でも理解が得にくかった。

(主な対策)

行政の仕事の進め方の新しい形として庁内の理解を得るため、PFS導入可能性調査支援（令和4年度内閣府）による実現可能性や介護予防効果と成果指標を関連づけたロジック等により、**市長、副市長、関係局の理解**を得た。



(主な効果)

実施期間を令和6年度から8年度までの3年間とする事業が債務負担で実現した。

実務的な課題とその対策②

(実務的な主な課題)

PFSは広く周知・理解されていなかったため、入札参加者が見込めなかった。

(主な対策)

事業リスクなどの**民間の不安を払しょく**するため、オンライン勉強会を開催するなどにより、丁寧に説明をした。



静岡市は、PFSを活用した介護予防事業に取り組みます！

PFSを活用した事業は本件初…

そこで、PFSの概要やPFSを活用した事業について勉強会を開催します！

令和5年
6月23日(金)
14:00~15:00

【趣 旨】 内閣府政策推進官（経済社会システム担当）氏
参事官（政策推進型事業推進担当） 中井 氏
【内 容】 ・PFSの概要及びPFSを活用した介護予防事業について（内閣府）
・静岡市の取組み（事務局）
【対 象】 PFSを活用した介護予防事業に関心のある市内企業等の皆様
【実施方法】 ZOOM 参加はZOOMのアプリ、ID・パスワードが必要です。
【申込方法】 054-221-1572 へお電話でご申込ください。
【申込期限】 令和5年6月22日（月）

問合せ 静岡市地域包括ケア・誰もが活躍する本部
TEL 054-221-1572

【概要】

- ・令和5年6月に、PFSを活用した介護予防事業に関心のある企業を対象に開催。
- ・内閣府の講演や市の取組の説明に首都圏や関西圏を含め、市内外の企業**14社46名**が参加。

【参加者の反響】

- ・PFSという契約方式について**理解を深める**ことができた。
(情報通信、エネルギー、金融関係企業)
- ・静岡市の考えている事業スキームについて、**もっと説明を聞きたい**。
(スポーツ関係企業)
- ・介護部門だけでなく、企画部門を含めて、**会社全体で検討**したい。
(介護等の複数業種運営企業)

(主な効果)

翌年度実施のPFSを活用した介護予防事業に対し、市内外企業の7社から参加意欲が示された。

実務的な課題とその対策③

(実務的な主な課題)

「しずおか ちゃちゃちゃ」に参加者が奪われ、既存の介護予防の取組ができなくなると、市民の誤解があった。

(主な対策)

「しずおか ちゃちゃちゃ」の実施前から、自治会・町内会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの理解が得られるまで頻繁に説明に伺い、**信頼関係を構築**した。



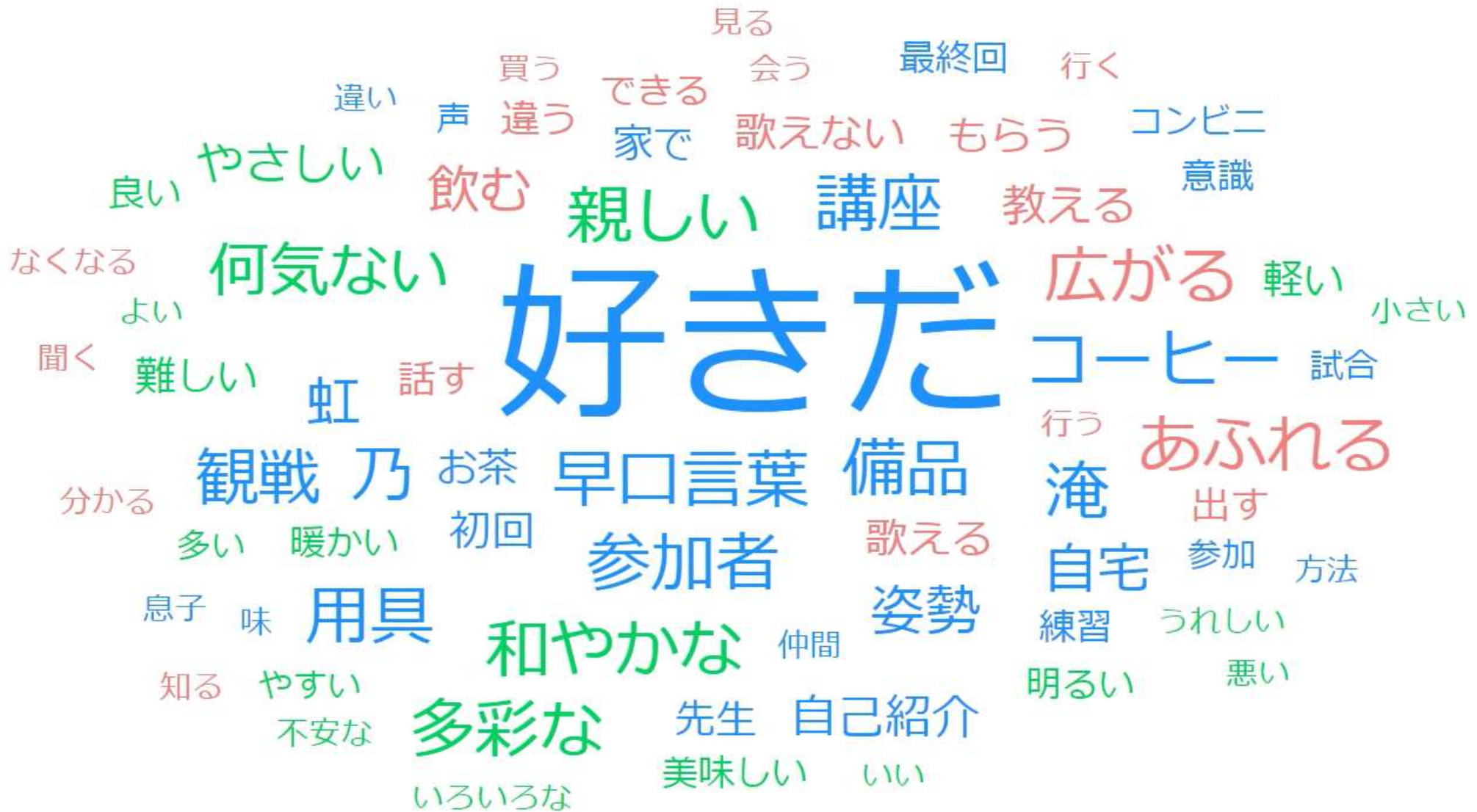
地域主催のイベントの中で体験会を開催。
400人を超える市民が参加。



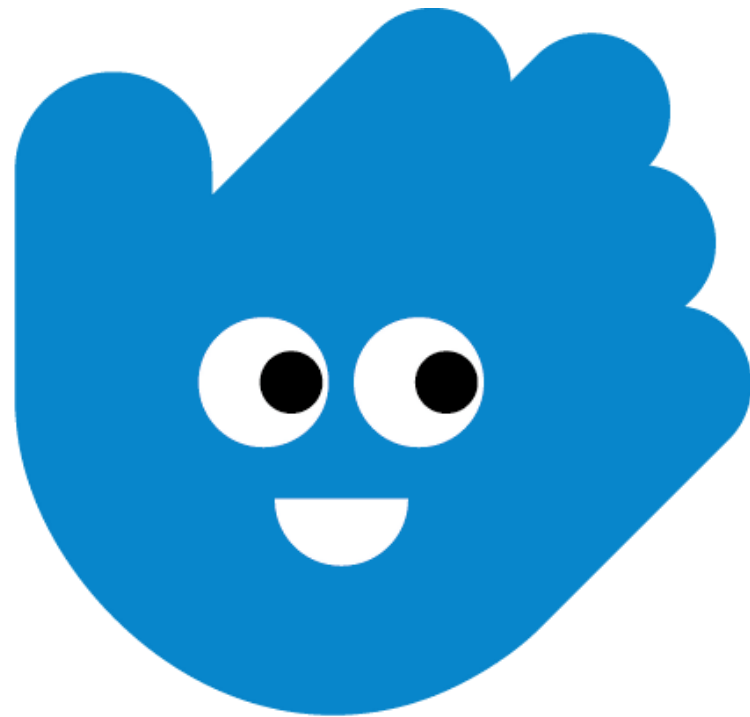
(主な効果)

既存の取組に加え、地域や企業・団体、大学と「しずおか ちゃちゃちゃ」との連携が実現した。

「しずおか ちゃちゃちゃ」参加者の声



「しずおか ちゃちゃちゃ」参加者アンケートの感想(コメント)をテキストマイニングで作成
(青:名詞 赤:動詞 緑色:形容詞・形容動詞)



しずおか
ちゃちゃちゃ

65歳からのわたしたちにエール